



とり みみ  
鳥に耳はあるの

よくきこえるみみがある

とりのあたまをみると、みみらしいものが見あたりません。でも、とりはよく見える目と、音をよく聞くことができる、いい耳をもっています。ただし、イヌやネコ、ウサギ、人間などのような、飛び出して自立つ耳たぶはありません。

これは、鳥ができるだけ速く空を飛ぶために、耳たぶみたいな飛び出したものは、じゃまだからと考えられています。イヌや人間と同じ、ほ乳類の仲間で、海にすんでいるクジラやイルカも、耳はありますが、耳たぶが体の外に飛び出していません。鳥が飛ぶときも、クジラなどが水の中を進むときも、耳たぶのような出っぱりがあると、空気や水のていこうが大きくて、速く進むじゃまをするからでしょう。

めのうしろがわのなか、みみのあながある

ふつう鳥の耳は、目の後ろ側に、左右二つあります。たいてい、耳のあなは羽毛でおおわれているため、見てもわかりません。ブンチョウやセキセイインコなどの、目の後ろあたりの毛を、ふうっとふいてみると、毛の中にかくれていた耳のあなが、見えるはずですよ。

シチメンチョウやニワトリ、ダチョウ、コンドルなど、頭の部分に毛が生えていない鳥で、目の後ろあたりを観察すると、耳のあなが見えます。（監修・今泉 忠明）

